

資格科目〈キッズ・教職〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
教育課程及び総合的な学習の時間の指導法（中高）			13854	Ⅱ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
松井 敦	選択	2	中学校教諭 中学校教頭 小学校校長			

授業の到達目標

教育課程の意義や編成の方法を学び、カリキュラムマネジメントの重要性を理解する。また、教育課程における総合的な学習の時間の位置づけや意義を理解し、指導計画の作成の仕方を修得する。このクラスでは、KAISEIパーソナリティーのI（知性）とK（思いやり）の育成を目指す。

授業の概要

学習指導要領が改訂され、教育に求められる課題も変わってきている。「主体的・対話的で深い学び」「カリキュラムマネジメント」をキーワードに教育課程の果たす役割や機能、意義を理解し、公的な性格を有する学習指導要領を学ぶ。さらに、学習指導要領の歴史的な変遷や諸外国との教育制度の比較から、現在の教育課程の意図を考察する。授業のまとめとして、「総合的な学習（探究）の時間」の単元計画の作成に取り組む。

授業計画

- ☆はじめに・教育課程と総合学習
・「教育課程」とは？・標準授業時数・「学習指導要領」とは？・「学習指導要領」の法的根拠・教育課程は、誰が決めるのか？・「総合的な学習（探究）の時間」の創設
- ☆新学習指導要領のめざすもの
・学習指導要領の改訂・新学習指導要領のめざすもの（改訂にこめられた願い）・新学習指導要領が示す具体的な改定のポイント
- ☆「主体的・対話的で深い学び」とは
・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善・「主体的・対話的で深い学び」を促進する教師力・「カリキュラムマネジメント」の視点から
- ☆「主体的・対話的で深い学び」の教育活動の具体を考える①
・宿泊行事について企画する・「教員の連携、複数の教科等の連携」を意識して
- ☆「主体的・対話的で深い学び」の教育活動の具体を考える②
・宿泊行事について企画する・「カリキュラムマネジメント」の視点から
- ☆先進校の実践に学ぶ
- ☆小中一貫教育と教育課程
・学校現場の課題の多様化と複雑化・小中一貫教育の大目的・小中一貫教育の成果
- ☆小中連携・小中高連携
・先進校の実践に学ぶ
- ☆中学校学習指導要領 外国語科の改訂のポイント
・先進校の実践に学ぶ
- ☆総合的な学習（探究）の時間 ～学習指導要領改訂のポイント～
・「総合的な学習の時間」の経緯
- ☆総合的な学習の時間の目標

・総合的な学習の時間とカリキュラム・マネジメント

- ☆目標を実現するにふさわしい探究課題
- ・「中学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編」を読む・「総合的な探究の時間」でぶつかる壁・「今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開」より
- ☆総合的な学習の時間の単元計画を考える
・学校における実践事例・単元計画の具体例・探究的な学習の指導のポイント
- ☆研究開発学校制度・単元計画を考える
・研究開発学校制度について・総合的な学習の時間の単元計画を考える
- ☆まとめテスト

授業の方法

毎回配布するレジメ・資料を中心にパワーポイントを使って講義を進める。また視聴覚教材を活用しながら学習を深める。講義を主とするが、グループワークなども取り入れる。

準備学修

中学校学習指導要領解説（総則編）、中学校学習指導要領解説（総合的な学習の時間編）を読んでおく

課題・評価方法、その他

平常点（70％）、定期試験（30％）

欠席について

やむを得ず欠席する場合には、事前、事後に届け出る

テキスト

中学校学習指導要領解説（総則編）最新版

中学校学習指導要領解説（総合的な学習の時間編）最新版

参考図書

今、求められる力を高める総合的な学習の時間（小）文部科学省編 教育出版

今、求められる力を高める総合的な学習の時間（中）文部科学省編 教育出版

今、求められる力を高める総合的な学習の時間（高）文部科学省編 教育出版

留意事項

毎回の授業のレジメと資料をファイルに整理し、最後に提出。

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

資格科目〈キッズ・教職〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
教育方法論	ET		13856	Ⅱ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
堀 正人	選択	1	神戸市教育委員会指導主事 文科省海外派遣教員 阪神淡路震災避難所支援 公開異人館副館長			

授業の到達目標

子どもたちに求められる資質・能力を育成するための教育の方法、子ども理解、教育評価等について学修し、授業の設計技術を修得する。さらに、多様な教材の活用を通じて授業展開の方法を理解する。このクラスではKAISEIパーソナリティーのA（自立）とI（知性）を養う。

授業の概要

学校教育の理念に基づいた教育を実践するための方法や知識を身に付け、基礎的な学習理論と指導技術を学ぶ。

授業計画

- 1 教育方法論の歴史
- 2 カリキュラム論
- 3 教科書と学校教育の関係
- 4 授業の構造について
- 5 教育技術論
- 6 授業の方法と実践
- 7 学力と教育評価について
- 8 模擬授業実践（人権教育）、まとめ

授業の方法

最初に、まとめてレジメを配布し授業を進め、レポート作成やロールプレイに取り組む。

準備学修

Webで参照（中学校学習指導要領等）しておくこと

課題・評価方法、その他

課題：各回の講義中に課題を出すのでレポートを提出すること
評価方法：平常点70％、試験30％

欠席について

やむをえない事情があるときは、事前事後に届け出ること

テキスト

なし

参考図書

中学校学習指導要領解説（総則編）ぎょうせい出版

留意事項

最初に配布した資料をもとに授業を進める。毎回レポートも作成する

資格科目〈キッズ・教職〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
教育における I C T活用			13859	Ⅱ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
山本 直子	選択	1				

授業の到達目標

教育におけるICTの活用について現状を知り、理解を深める。このクラスでは、KAISEIパーソナリティのA（自律）とI（知性）を養う。

授業の概要

初等中等教育におけるICT活用のねらいを理解し、その方法について具体例を通して知る。

授業計画

- 1 学習指導におけるICT活用の考え方
- 2 ICTを活用した学習指導について
- 3 ICT機器について
- 4 興味関心を高めるICT活用の具体的な方法や場面
- 5 一人一人の能力を引き出すICT活用の具体的な方法や場面
- 6 思考や理解を深めるICT活用の具体的な方法や場面
- 7 学習準備と評価に関するICTの活用
- 8 まとめ プログラミング教育

授業の方法

講義とグループディスカッションを中心に行う。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法、その他

- ①講義の中で、キーワード等をもとに振り返りを行う
- ②評価については、平常点50％、定期試験50％

欠席について

学内の規定に準ずる。

テキスト

必要に応じて資料提供する

参考図書

必要に応じて紹介する

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

資格科目〈キッズ・教職〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
教育経営論（中高）			13853	Ⅲ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
堀 正人	選択	2	阪神淡路大震災学校避難所支援 神戸市教育委員会指導主事 公開異人館副館長 文科省海外派遣教員			

授業の到達目標

社会の状況の変化が学校教育にもたらす影響とそこから生じる課題、それに対応する教育施策の動向を理解する。また、公教育が果たしている社会制度的な意義について考察し、学校教育の基本的な知識を身に付ける。このクラスでは、KAISEIパーソナリティのA（自律）とI（知性）の育成を目指す。

授業の概要

公教育の意義、原理、構造について法的な仕組みや基礎的な知識を学ぶ。さらに、学校と地域との連携の取り組みかの中から学校安全の在り方や危機管理について考察する。

授業計画

- 1 学校教育と公教育について
- 2 教育行政の仕組みについて
- 3 教育改革の歴史概要
- 4 学校教育における法制度について
- 5 学校の組織と運営について
- 6 学校における教員の在り方について
- 7 学校経営と教師力
- 8 学校と地域の連携について
- 9 学校教育の評価について
- 10 変容する子どもの生活と教育的な課題
- 11 安全教育・安全管理の取り組み
- 12 保護者対応から連携について
- 13 災害時に学校が果たす役割について
- 14 学校における危機管理のあり方
- 15 開かれた学校づくりについて・まとめテスト

授業の方法

最初に配布したレジメを中心に授業を進める。
レポートを書くこと、グループディスカッション等を多く取り入れる。

準備学修

Webで世界各国の教育制度や教育の現状、教育法等について事前に

調べる。

課題・評価方法、その他

平常点70％、定期試験30％

欠席について

やむを得ず欠席する場合は事前事後に届け出ること。

テキスト

なし

参考図書

必要に応じて、随時紹介する。

留意事項

出席と授業態度、レポートを重視する。
授業中に配布したレジメ等の資料を整理しファイリングしておくこと

ET 教職科目〈ET 教職科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
教育実習指導（中等）	教職中		14231	IV	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
吉野 美智子／堀 正人	選択	1	堀：神戸市教育委員会指導課教育実習担当主事 神戸市立学校教員指導力改善指導員・中学校長			

授業の到達目標

教育実習の事前及び事後の指導を通して、教育の社会的役割を認識し、教職への積極的な態度を養う。教育実習は、教職課程のいわば総仕上げとしての重要な意味をもつものである。大学で学んだ教育理論を教える立場に立つことによって、より深いものとして身につけ、学校という教育現場において、教育実践を通して学校教育についての理解を深め、教職への自らの決意と適性を確認する。このクラスでは、KAISEIパーソナリティのA（自律）、I（知性）、及びE（倫理）を養う。

授業の概要

教育実習の実施計画に基づき、実習校において実習を行うための事前及び事後指導を行う。また、実習校における実習期間中に、本学の指導教員が実習校を訪問し、研究授業等の指導にあたる。

授業計画

- 1 教育実習事前指導①
- 2 教育実習事前指導②
- 3 教育実習事前指導③
- 4 教育実習事前指導④
- 5 教育実習事前指導⑤
- 6 教育実習事前指導⑥
- 7 教育実習事後指導①
- 8 教育実習事後指導②

授業の方法

発表とディスカッションを多く取り入れる。

準備学修

- ・テキストについて、前時に指示された箇所を読んでおくこと。
- ・毎回、指示されたテーマについて各自が発表を行うので、その準備をしておくこと。
- ・中学校・高等学校の学習指導要領をもう一度よく読むこと
- ・Webで実習予定校の概要を調べる

課題・評価方法、その他

平常点70%、模擬授業30%

欠席について

出席点（100点満点）は全体の20％とし、欠席は1回につき、20点減点する。遅刻・早退は1回につき6点減点する。

テキスト

米山朝二・杉山敏・多田茂『〔新版〕英語科教育実習ハンドブック』（大修館）
文部科学省『中学校学習指導要領解説 外国語編』最新版
文部科学省『高等学校学習指導要領解説 外国語編 英語編』最新版
必要に応じてハンドアウトを配布する。

参考図書

授業中に随時紹介する。

留意事項

- ・平常点には、口頭発表、レポート、模擬授業、出席状況・日頃の学習態度の評価が含まれる。
- ・毎回の授業に出席することはもちろんであるが、それだけではなく、熱意をもって学習する態度が必要である。